

平成29年度第1回 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	平成29年6月5日(月) 午後4時15分～5時15分
場 所	青葉区役所402～403会議室
出席者	<p>【議 長】 内田議員</p> <p>【議員：7名】 青木マキ議員、赤野たかし議員、菅野義矩議員、行田朝仁議員、小島健一議員、藤崎浩太郎議員、横山正人議員</p> <p>【説明局員：35名】</p> <p>小池恭一区長、小出重佳副区長、勝島聡一郎福祉保健センター長、近野真一福祉保健センター担当部長、楨重善青葉土木事務所長、谷津道路局横浜環状北西線建設課施工管理担当課長 ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>(1) 横浜環状北西線の事業の進捗状況について (資料1・道路局横浜環状北西線建設課)</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けた青葉区版行動指針の策定について (資料2・高齢・障害支援課)</p> <p>情報提供</p> <p>奈良川改修工事の進捗状況について (資料3・青葉土木事務所)</p>
報告事項 (1) 横浜環状北西線の事業の進捗状況について	
発 言 の 要 旨	<p>横山議員 北西線が完成すると青葉区にとって便利な高速道路ができるわけだが、区民の利便性については、今から東急バスと議論しておく必要があるのではないか。</p> <p>一点目は、空港リムジンバスの発着地について。現状では青葉区から羽田空港、成田空港までは、たまプラーザ駅からリムジンバスが出ているが、北西線の完成後、発着地がたまプラーザ駅から市が尾駅に移る、あるいはたまプラーザ駅発に加えて市が尾駅発も運行するという事になれば非常に便利になる。</p> <p>しかし、そのままたまプラーザ駅発着だけで変わらないということになると、北西線のメリットを受けることができない。そうすると東急バスではなく市営バスでの運行もあり得るのではないか、といったいろいろなことが考えられる。</p> <p>もう一点は、荏田の高速バスターミナルについて、現在は構想の卵の段階だが、これも現実味を帯びてくると思う。この話も少し前に進めていく必要があると思うが、区の考え方を伺いたい。</p> <p>小池区長 東急等のバス事業者との関係もあるが、まず内部で検討していきたいと考えている。</p>

報告事項（２）地域包括ケアシステムの構築に向けた青葉区版行動指針の策定について	
発言の要旨	<p>行田議員                   キックオフから２年経ったが、医療、介護、地域の福祉等の関係者との連携について、日ごろからどういったことに取り組んでいるのか。</p> <p>室山高齢・障害支援課長        ３年ほど前から進めている青葉区の特徴的な取組として、医療と介護の連携、顔の見える場として、医師会、歯科医師会、薬剤師会、ケアマネジャー、介護事業者が集まる会議を開催している。</p> <p>                                  毎月１回、夜の７時から、区役所の会議室に集まっていただく２時間くらいの会議で、今は認知症対策や情報の連携のあり方について主に議論している。</p> <p>                                  情報の連携については、MC S というクラウドシステムの活用を考えているが、緊急時に自宅に駆けつける救急隊も必要な情報が入手できるように、システムでの共有に加えて紙のファイルの整備についても視野に、在宅医療をやっている医師を中心に取組を進めている。</p> <p>                                  また介護予防については、高齢分野だけではなく、いろいろな健康づくりに取り組んでいただいている委嘱団体や医院など、健康づくり分野の方々とも一緒に、昨年度から連絡会の準備会、また今年度からは連絡会を立ち上げ、今後さらに分科会方式でより具体的な取り組みを進めていきたいと考えている。</p> <p>                                  また生活支援体制については、新たなサービスとして主に家事援助など、より身近な地域が主体となって行う、いわゆるセミプロの支援として、今年から地域の方たちに活動を呼びかけている。</p> <p>                                  またシニアの社会参加ということで、シニアパワーの取り込みも進めている。</p> <p>赤野議員                    青葉区がこの29年度に何を指したいのか、数値目標的なものが具体的ににあるのか。また青葉区独自でこのような指針を作成する意味について教えていただきたい。</p> <p>室山高齢・障害支援課長        目標値の設定については、健康福祉局の示すもの、また区独自のものなど、これから考えていくところであり、次回の会議ではもう少し具体的なお話ができると考えている。</p> <p>                                  指針については、市版の指針に続き、18区でそれぞれの状況に応じた区版の指針を策定することになる。</p> <p>                                  既に高齢化が進んでいる区と、青葉区のようにこれから急激に高齢化が進む区、あるいは田園都市線沿線地域と市南部地域というように、各区の異なる状況に応じた指針を策定し、取組を進めていきたい。</p>

	<p>赤野議員 青葉区の地域特性に応じた特徴ある指針を策定するのであれば、この会議の参加者にも、青葉区ならではのこだわりなど、詳しく説明したほうがよいのではないかと。</p> <p>室山高齢・障害支援課長 青葉モデルでやってきた医療・介護の連携については、青葉区は特に先駆的に取り組んでおり、そういった先進的な取組も指針に入れ込んでいきたい。</p> <p>また、青葉区の特徴として、いろいろな知見や経験を持ったシニア世代の方がたくさんいらっしゃるため、そのようなシニア世代の方をどうやって巻き込んでいくか、一方で主婦層も豊富であり、次世代の方達にどうすればいわゆる2025年問題に関心を持っていただけるか、そういった視点が見えるような指針にしていきたい。</p> <p>赤野議員 シニアパワーや女性が地域で活躍できる、といった視点を具体的なプランとして示していただけるように期待している。</p>
情報提供	奈良川改修工事の進捗状況について
発言の要旨	(特になし)